

倉掛新聞

《発行所》 倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長／中島順三
《編集》 倉掛自治連合会
倉掛少年団育成会
倉掛少年団第5
消防井原分団第5

少年団活動を支援

本年度初めに育成会の松井憲司会長から「今年の倉掛少年団員は十八人、同育成会員は十五人。昨年の約六割です」と報告をうけ、関係者は一様に驚いた。数多い少年団活動の中で

も特に、年二度の小田川土手草刈りと倉掛公園清掃、廃品回収は多くの人手を必要とし、作業は困難が予測される――。

育成会OBや自治連合会は「倉掛少年団のピンチを

倉掛少年団と同育成会の人員激減に伴い、育成会OBら地域住民が活動を支援しようと立ち上がった。



地元住民らの加勢で廃品回収を行う少年団員たち

「ほっておけない」として、可能な範囲で活動を支援する方針を打ち出し、四月に本紙でも公表した。

共に汗を流す

五月十三日の倉掛公園清掃と小田川土手の草刈りには六人、六月十日の廃品回収には八人が助っ人として作業に加わった。

育成会OBのある男性は「四十年を超える歴史を持つ倉掛少年団にも、少子化の波が押し寄せていたんですね」と話しながら、共に汗を流した。

育成会の川上吉弘副会長

地域団体などの情報紙を対象とした第20回岡山県ミニコミ紙コンクールの表彰式が6月6日、岡山県総合福祉会館で行われた。

弊紙倉掛新聞は一昨年に続

優秀賞を受賞

倉掛新聞 県コンクールで

いて優秀賞「県明るい県民運動推進協議会長賞」（大原謙一郎会長）を受賞。倉掛自治連合会・中島順三会長ら、出席した受賞団体の各代表に賞状などが手渡された。

明るい県民運動推進協議会長賞

福祉活動顕著

市長賞を受賞

倉掛11組の片岡春枝さん

老人福祉活動を積極的に推し進めてきた倉掛十一組の片岡春枝さんが五月三十日、井原市老人クラブ連合

会（石丸警吾会長・二十三団体）の大会で栄えある井原市長表彰を受けた。

片岡さんは大正六年五月



「例会は講演や舞踊もあって毎回充実していますよ」と足次老人クラブ前会長の片岡春枝さん（自宅前で

足次老人クラブはお年寄りの交流や社会奉仕を目的に昭和三十五年発足。現在会員は二百五十人。寝たきり老人慰問・庭園清掃など広く地域へ貢献する一方、文化活動や年二度の研修旅行を行い、会員の融和を図っている。

六月二十二日（金）高齢者交通安全講習会
六月二十四日（日）第一回住民大会（精研）
六月二十五日（月）親と子の交通安全活動
七月二日（月）運動適性検査（公民館）
七月十日（火）交通安全テント村（市民会館前停留所付近）
七月二十五日（水）早朝街頭啓発（年八回）

生まれ。平成九年四月から三年間、足次老人クラブ会長を務め、組織運営や地域福祉事業に尽くした功績などを高く評価された。

受賞した片岡さんは「ご協力頂いた関係各位のおかげ。特別な事はしていないのに恐縮です」と話している。

六〇七月に予定されている井原町の主な交通安全推進活動は左記のとおり。

交通安全活動 予定決まる

6月24日に住民大会

側溝には枯れ葉なども多い＝倉掛公園南



今年も綺麗に

倉掛地区全域で溝掃除

梅雨入りを前にして、倉掛地区全域で溝掃除が行われた。

自治連合会が各戸に要請

した側溝の土砂の取り除きは、五月二十日から二十七日の八日間でほぼ終了。井原大橋直下の暗渠は住民の

は「皆様方に手助けをして頂いたお陰で、予定時間内に作業を終了できました」と礼を述べていた。

手に負えないため、今年も市建設課が業者の吸引車で土砂を除去した。

六月三日には各組自治会長と自治連合会役員らが協力し、ダンパーカー二台で各戸の前に積まれた土のう約

事業所会費を集金

倉掛自治連合会

事業所自治会費集金が本年度も順調に進んでいる。

五月十七日には事業主が倉掛以外へ居住の場合に該当する地区外事業所を訪問して拠出を依頼、約五十の

店や事務所などの協力を得た。学習塾や夜間営業の飲食店、支払い日指定の事業所については別途、役員が出向いている。

自治連合会の妹尾一成会計によると「六月二十日現在で残り数件を残すのみ。七月中には全事業所の協力が得られそうだ」との見通しを示した。

8トン回収した。第5部消防団も距離の短い暗渠の放水清掃を行った。

消火器の薬剤・薬液交換も同日行われ、自治会所有分十四本と個人所有分四本を入替えた。

佐能選手 100メートル連覇

井原後月中学校陸上選手権

第五十三回井原後月中学校陸上選手権が六月七日、運動公園陸上競技場で開か

れ、倉掛三組の佐能実智男選手（井原中学三年）が昨年

に続いて男子100mで優勝を飾った。

3年100mで優勝した倉掛の佐能実智男選手＝No.4



この大会は井原、高屋、木之子、芳井の四校対抗戦で、力と技を競う選手らに、スタンドから盛んな声援が送られた。

昨年、二年男子100mと同100mで優勝した倉掛の佐能選手は今回、100m一本に絞っての出場。予選に続

倉掛3組

清掃に汗を流し、空き缶など多くのゴミを回収した。中には車輪の無い放置自転車



車もあり、持ち運びに四苦八苦する男子生徒の姿も見られた。



写真上＝井原警察署撮影「ゆっくり真っ直ぐ走るのには難しかったです」と佐能光洋君

小田川周辺を清掃奉仕

井原中学2年生

井原中学校が六月十一日午後、全校生徒による奉仕活動を行った。二年生の約二百人は、倉掛地内を含む小田川周辺の

安全に乗ろうね

井原小6年生 佐能光洋君ら4人出場

子供自転車岡山県大会

自転車の安全な乗り方を競う交通安全子供自転車岡山県大会が六月十日、山陽町の総合体育館で開かれ、井原小学校から倉掛の佐能光洋君ら六年生四人が選手として出場した。

佐能君らは四月より約七週間、先生や安全協会関係者から高度な運転技術や細かい法令などを学び、大会では高得点を挙げた。同校の渡辺惣市教頭は、「選手一人ひとりが本当に良く頑張りました。今後とも学校ぐるみで交通安全に努めたい」と話している。

消毒用噴霧器 各組で保管を

使用頻度は減少

倉掛地区では毎年六月から八月の第二・第四日曜日に、環境衛生のための家庭用消毒薬を各組ごとに回している。

ところが井原町内に下水道が整備されて以降、消毒



消毒に使われている一般的な噴霧器

の実施を必要としない世帯が増。今季、消毒薬を使用した自治会は、倉掛二十五組のうち僅か一組と大きく減少している。そこで使わなくなった消毒用噴霧器の保管を自治連

合会へ依頼する声も出ている。薬液配付の窓口となっている倉掛自治連合会・瀬川芳隆環境衛生部長は「噴霧器は各組単位の所有物。従って、自治会長で管理して頂きたい。当面は必要無くても万一、水害に見舞われた場合などには緊急に使用することもあり得る」として、理解を求めている。

思い出の一枚

今回は倉掛五一組の渡辺文太さんにお借りした八年前の写真。場所は標高1982m、西日本で最も高い四国の霊峰石鎚山の頂上付近。平成五年八月、倉掛石鎚講社の人たちと登った時の清々しい一枚だ。

「この頃はまだ元気が良かった」と笑う渡辺さんの石鎚山初登拝は昭和二十年頃。「当時は笠岡の伏越から貨物船で西条へ渡り、後の長い道のりをすべて歩いた」と振り返る。時は流れ瀬戸内海には橋が架かり、お

倉掛石鎚講で石鎚山登拝 5-1組 渡辺文太さん (78)



中段左から3人目が渡辺さん＝平成5年8月石鎚山

ミニミニ伝言板

- 井原公民館に5台のパソコンがやって来た。IT部会は7月から住民を対象としたパソコン講座を開く予定で現在、受講者を募集中。希望者は申込書へ氏名等を記入のうえ、井原公民館の郵便受けへ。(多数の場合は抽選)
- 井原町交通安全運動の第1回住民大会が6月24日午前10時30分より、精研高校グラウンドで開かれる(雨天の場合は井小体育館)。大会を盛り上げる県警音楽隊のドリル演奏は一見の価値あり。井原公民館では約500人規模の大会を予定している。
- 倉掛婦人会(竹田京子支部長)の役員を含む井原婦人会約50人が6月3日、大阪方面への研修旅行を行った。一行が最初に訪れた大阪りんくうプレミアムアウトレットでは、店舗数と人の多さにビックリ。続いて海遊館ではジンベエザメの巨大さにまたビックリ。「ビックリの連続で疲れました」(笑)

- ◆ 行事予定 ◆
- 6/23 自治連合会防犯パトロール
- 6/24 交通安全住民大会 (精研)
- 6/24 井原学区少年団対抗球技大会
- 7/1 第5部消防団試運転日
- 7/14 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時
- 7/19 井原市小中学校1学期終業式
- 7/20～ 少年団ラジオ体操 8月5日まで (郷社)
- 7/21-22 倉掛少年団キャンプ (弥高山)
- 7/21 自治連合会防犯パトロール
- 8/4 井原市夏まつり
- 8/5 倉掛少年団倉掛公園清掃作業
- 8/5 井原市花火大会
- 8/5 消防団第5部試運転日
- 8/11 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時
- 8/12 井原町盆踊り大会
- 8/18 自治連合会防犯パトロール